

「マタイ17章」

イントロ:

1. 文脈を確認する。
 - (1) イエスの公生涯の最後の年。
 - (2) きょうの箇所もまた、弟子訓練の頂上である。
 - (3) イエスは、使徒行伝の時代に備えて弟子たちを訓練している。
2. 「対比」がキーワード
 - (1) 地理的な対比
 - * 山頂での祝福(3人)
 - * 山麓での戦い(9人)
 - (2) 初臨と再臨の対比(旧約聖書のメシア預言の2つの流れ)
 - * 初臨の預言では、メシアの受難が語られる。
 - * 再臨の預言では、メシアの栄光とメシア的王国の確立が語られる。
3. 私たちへの訓練
 - (1) 現代の課題
 - * 地球温暖化の問題
 - * イスラム教の復興とテロリズム
 - * 核戦争の危機
 - * 経済格差の問題
 - * 老後の問題
 - * 食の安全の問題
 - (2) それぞれの問題解決のために、努力する必要がある。
 - (3) しかし、究極的解決法を知っておく必要がある。
 - (4) きょうも、立ち聞きをしながら、よりよい弟子とならせていただく。

地理的な対比をすることによって、今を生きる力を受けることができる。

I. 山頂での祝福

イントロダクション

- (1) マタイ16:28の成就。
- (2) この山は、タボル山ではなく、ヘルモン山。
- (3) 山頂に登ったのは、ペテロとヤコブとヨハネ。

1. イエスの変貌

- (1) シャカイナグローリー
- (2) 出エジプト 32～34 章では、モーセがシャカイナグローリーを反映させている。
 - ①一時的で、やがて消えていく。
 - ②月が太陽の光を反射させているのと同じ。
- (3) イエスの場合は、内側から輝き出ている。
 - ①肉体という幕屋でさえぎられていたシャカイナグローリーが輝き出た。
- (4) イエスがメシア的王国(神の国)で持つ栄光。
 - ①Ⅱペテロ1:16～18

2. モーセとエリヤ

- (1) モーセは律法の代表、エリヤは預言者の代表。
- (2) 話している内容は、「ご最期」(ルカ9:31)。
 - ①出エジプトのこと。つまり、解放。
 - * イエス自身が、肉体の制約から解放される。
 - * 罪人が、罪から解放される。
 - ②イエスが、旧約聖書を成就するメシアであることを示している。
- (3) 死後のいのちの保証
 - ①モーセは、死から復活する聖徒の代表。
 - ②エリヤは、死なずして天に挙げられる聖徒の代表(携挙)。

3. ペテロの提案

- (1) 3つの幕屋(小さな掘っ立て小屋)
- (2) 異邦人による解釈
 - ①気が動転して、何をいっているのか分からなかった。
 - ②モーセとエリヤをイエスのレベルに引き上げている。
 - ③イエスをモーセとエリヤのレベルに引き下げている。
- (3) ペテロの提案は彼の聖書理解に基づくもの。
 - ①ゼカリヤ 14:16～18 仮庵の祭りはメシア的王国を予表するもの。
 - ②ペテロは、メシア的王国がすでに到来したと思った。
- (4) ペテロが理解していなかったこと。
 - ①メシアの来臨には、2つのものがある。
 - ②仮庵の祭りの前に、過越の祭りが来なければならない。
 - ③モーセとエリヤは、まさに過越の祭りについて話し合っていた。

4. 天からの声

- (1) イエスの洗礼の時に続いて2度目。
- (2) バットコルは合計3度ある。

- (3) 「彼の言うことを聞け」
 - ①ヘブル1:1～2
 - ②この終わりの時代には、神は御子を通して語る。
- (4) 恐れる弟子たち
- (5) イエスは元の姿に戻っている。
 - ①受肉の時の謙遜。
 - ②変貌の後の謙遜。
 - ③イエスのへりくだりの度合いを示している。

II. 山麓での戦い

1. 山を降りる途中

- (1) イエスの方針。イエスがメシアであることを言い広めない。
- (2) 「人の子が死人の中からよみがえるとき」の意味が分からない。
- (3) エリヤに関する質問
- (4) イエスの答え
 - ①マラキ3:1 無名の先駆者 バプテスマのヨハネ
 - ②マラキ4:5～6 エリヤ
 - ③バプテスマのヨハネはエリヤの「型」として来た。
 - ④人々は先駆者を殺したので、メシアも殺される。
 - ⑤再臨の前にはエリヤが登場する。
- (5) ユダヤ人は今でもエリヤを待っている。
- (6) 私たちは、すでにメシアが到来したことと、再度来られることを知っている。

2. 山麓で待つ9人の弟子たち(マルコ9:14～29)

- (1) 悪霊の追い出しで苦闘する弟子たち
- (2) 律法学者たちは、イエスのメシア性を否定する材料にする。
- (3) 父親の叫び。これは凶暴な悪霊である。
- (4) イエスはその子から悪霊を追い出した。
- (5) 弟子たちの疑問とイエスの回答
 - ①信仰が薄い。
 - * 「山」とは「サタンの王国」
 - * 信仰によって悪霊に打ち勝つ。
 - ②この種のもの
 - * マルコ9:25 口のきけない悪霊
 - * メシア的奇蹟のひとつ
 - * 祈りと断食

3. 2度目の受難の予告
 - (1) 1度目の予告。マタイ16:21～28
 - (2) 2度目の予告も、弟子たちには理解されない。
 - (3) 弟子たちは、何を質問していいのかわからずに、悲しんだ。
 - (4) 十字架の意味を本当に理解するのは、ペンテコステの日以降になる。

結論

1. 山頂での祝福と、山麓での戦い。
2. クリスマン生活の二面性を表している。
 - (1) 天上での祝福と、地上での戦い。
 - (2) 将来の祝福と、現在の戦い。
 - (3) 山頂の体験をすると同時に、山麓に下りて戦う必要がある。
3. 2度もシャカイナグローリーを隠して奉仕されたイエスの姿から学ぶ。